

平成25年度 九州電波監視業務統計

図1-1 混信妨害申告の種類別内訳

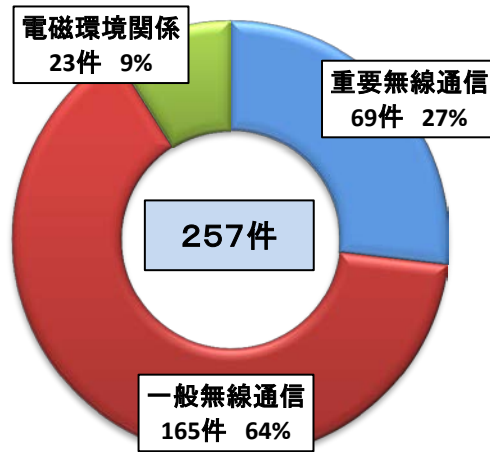


図1-2 混信妨害申告の県別内訳

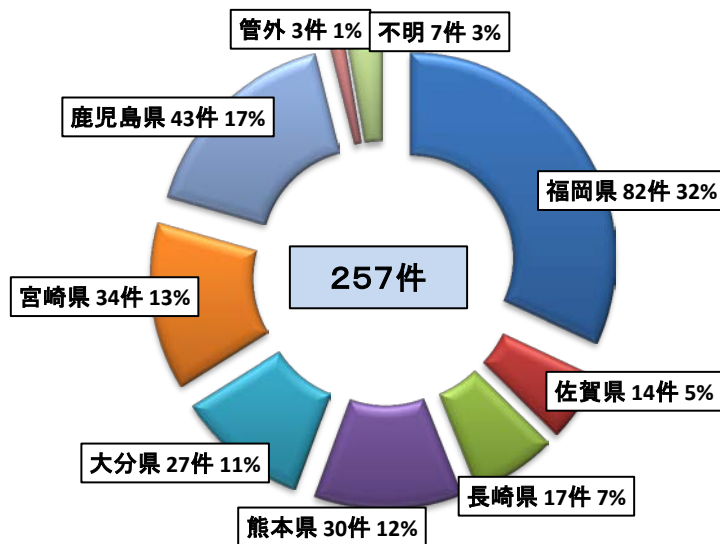
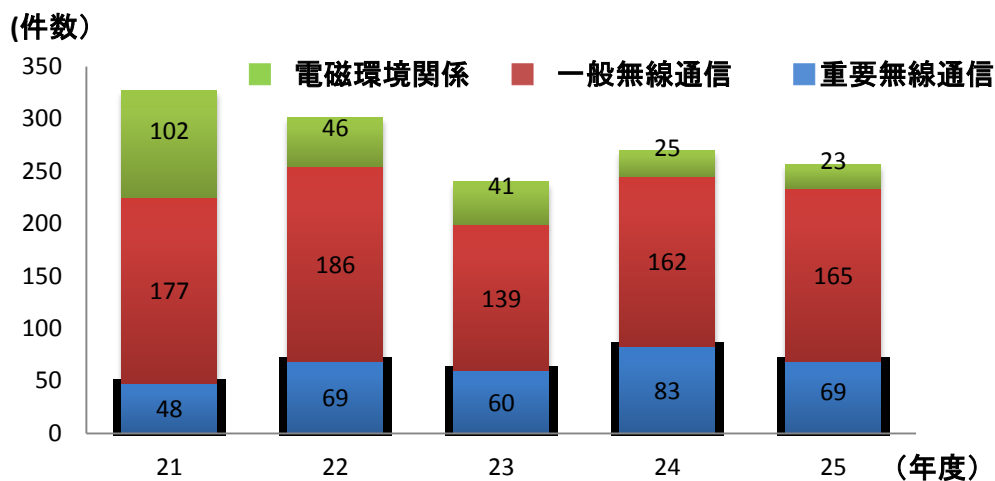
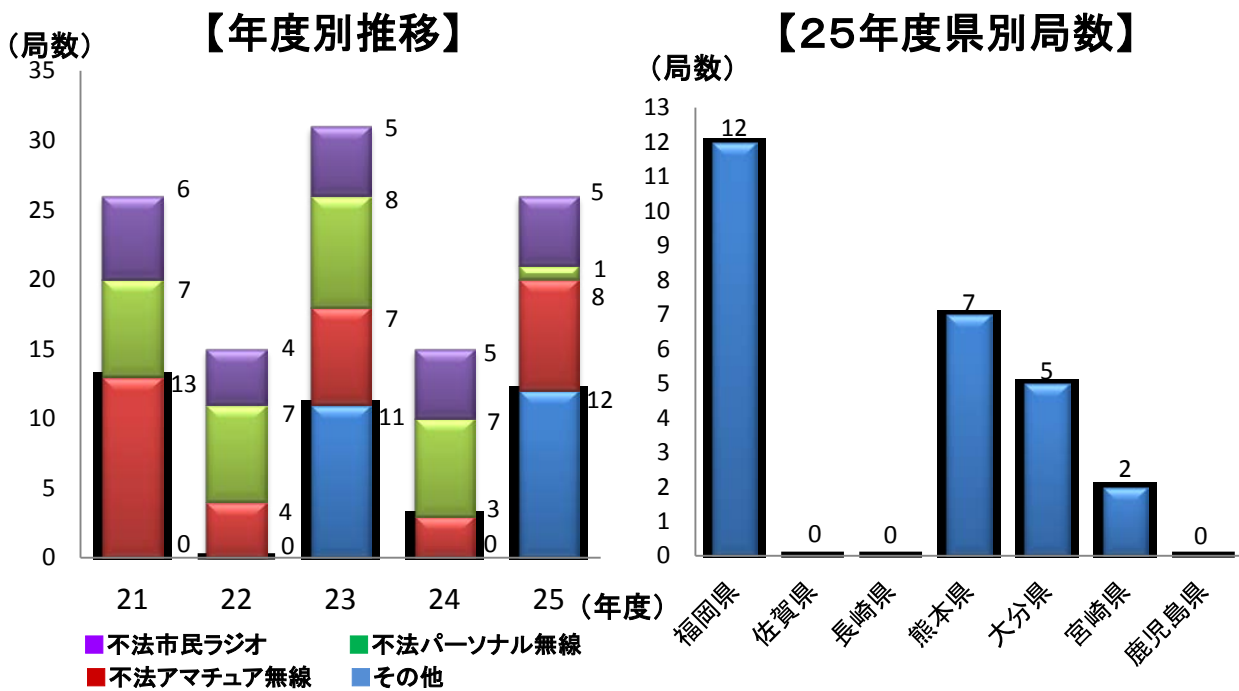


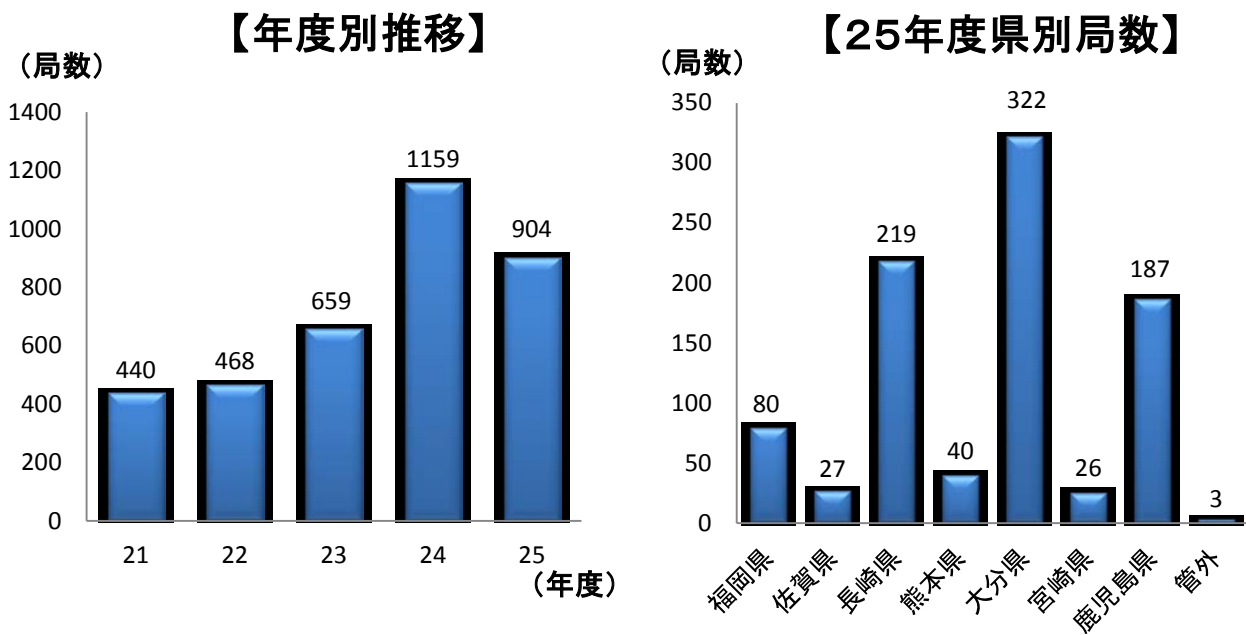
図1-3 混信妨害申告の年度別推移





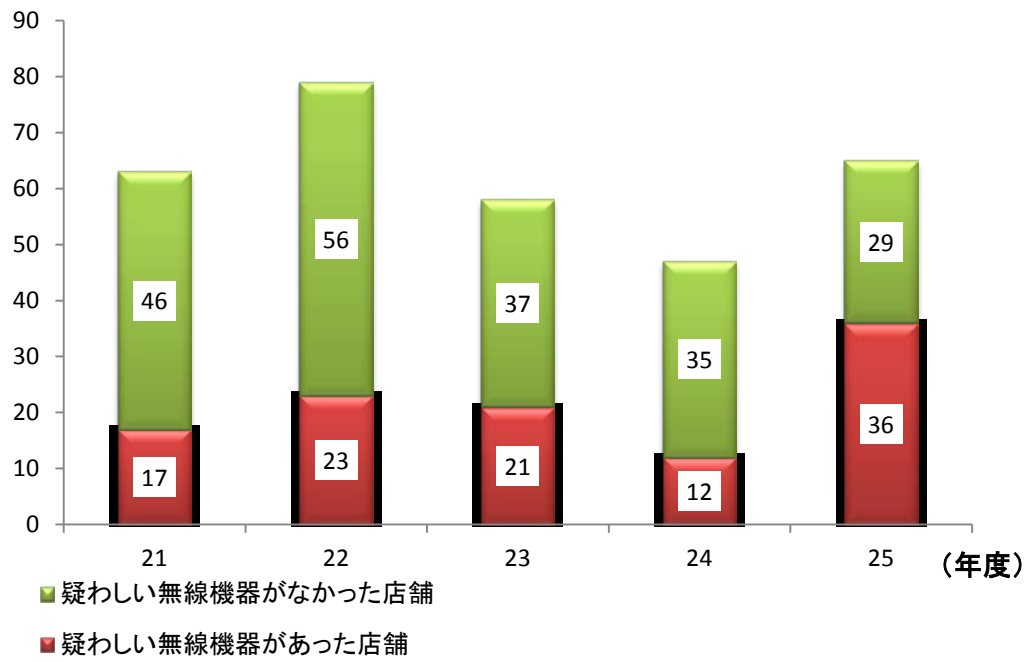
- ・ 不法市民ラジオ : 電力増幅器を付加し、非常に強力な電波を発射。テレビ・ラジオの受信障害、パソコン等の誤動作
- ・ 不法パーソナル無線: 正規のパーソナル無線を改造し、指定された以外の電波を使用  
携帯電話への混信
- ・ 不法アマチュア無線 : 免許を受けずに開局し、指定された以外の電波を使用

**図2-2 不法無線局に対する文書指導実施局数**



※ 電波監視システムによる監視やアンテナの視認等により確認された不法無線局に対しては、電波法令を遵守するよう文書指導を実施。なお、平成24年度は船舶に設置されたアンテナの視認及び「不法パーソナル無線一掃作戦」の取り組みを強化した結果、前年度と比較し急増した。

(訪問店舗数)



※ 疑わしい無線機器の多くは、ワイヤレス方式の音響・映像用途の無線機器、外国規格の無線機